

小樽市総合戦略に位置付ける事業と施策KPI

《平成27年度実績値による現状分析》

総合戦略に位置付けている事業について、目標値の達成度をスコア表示すると、集計対象の全45事業中26事業が95以上のスコアで順調に目標値に向けて推移しているものの、全体の平均スコアは**49.59**に止まっている。

各プロジェクト別に見ると、「にぎわい再生プロジェクト」「あんしん絆再生プロジェクト」のスコアが伸び悩んでおり、指標や事業内容について今後精査が必要と思われる。

既に目標値を達成しているものは設定が低かったり、達成できなかったものは目標値の設定根拠が乏しい可能性があるため、事業部に要因分析を依頼し、これを取りまとめた。

各プロジェクトごとの平均スコアは以下のとおりである。

- (1) あずましい暮らしプロジェクト (集計対象 8事業/全 8事業) スコア: **50.00**
- (2) 樽っ子プライド育成プロジェクト (集計対象 13事業/全 14事業) スコア: **73.62**
- (3) にぎわい再生プロジェクト (集計対象 14事業/全 15事業) スコア: **47.69**
- (4) あんしん絆再生プロジェクト (集計対象 12事業/全 14事業) スコア: **21.92**

* 現状値：原則、平成26年度実績値

(1) あずましい暮らしプロジェクト

■ 市営住宅改善・建替事業

<建設部>

⇒ 老朽化した市営住宅の改修や建替を計画的に進める事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
市営住宅の改善・建替の実施棟数	18棟	48棟	21棟	50.00
<小樽市住宅マスタープラン(住生活基本計画)(H27.3)>		計画における目標値	年度ごとの件数に偏りがあり、中止や延期となった計画もあることからH31年度に46棟となる推移である	

交 ■ 起業者定住促進事業

<産業港湾部(商業労政課)>

⇒ 市内での定住を促進するため、市内商店街・市場の空き店舗での新規起業者に対し、家賃助成などの支援を行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
助成対象起業者数	5件	6件	4件	-100.00
<小樽市創業支援事業計画(H27~31)>		計画における目標値	助成対象の条件となる「小樽商人塾」の受講者が減少していることも要因と考えられる	

交 ■ 移住促進事業

<総務部(企画政策室)>

⇒ 当市への移住を促進するためワンストップ窓口を設置するとともに、首都圏でのプロモーション活動やホームページによる情報発信などを実施する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
移住・定住に関する問合せ件数	52件	100件	104件	100.00
		+10件/年	フェア会場が増加しているほか、移住に対する関心の高まりがある	

■ 交通事故防止啓発事業

<生活環境部>

⇒ 交通事故の撲滅を目指し、関係機関・団体と連携し、多くの市民へ交通事故防止の呼びかけを行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
交通事故件数	213件	180件	162件	100.00
		-7件/年	交通安全啓発運動の成果の表れである	

■ 空き家対策事業

<建設部>

⇒ 市内の空き家に関する相談業務や適切な維持管理がされていない空き家所有者に対して指導等を行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
空き家に関する相談の解決件数	0件	50件	49件	100.00
	目標値:5年累計	10件/年	目標値を、空き家の除却件数から、相談内容についての解決件数としたため目標値を達成しているため上方修正を検討する(新目標値案:250件(累計))	

② ■ 除雪事業

<建設部>

⇒ 安全で快適な冬の生活を確保するため、市道の総合的な除排雪等を行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
市民の声「除雪依頼」件数	1,199件	950件	488件	100.00
		-50件/年	少雪による減少と考える	

■ 街路防犯灯LED化推進事業

<建設部>

⇒ 既存街路防犯灯(水銀灯・白熱灯・蛍光灯)をLEDへ改良する団体等に対し、助成金を交付しLED化を推進する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
町会等が保有する既存の水銀灯、蛍光灯、白熱灯のLED改良数	0灯	11,399灯	3,766灯	100.00
		対象となる灯数	ほぼ計画通りの整備状況である	
街路防犯灯維持費補助金額	54,886,770円	28,294,000円	61,280,375円	-100.00
	LEDに改良可:8割、LED化で電気料6割減	LED化による減	H27の維持費は26年9月～27年8月分の電気料金から算定しており、LED化推進事業は27年6月から改良が始まったため電気料金の低減に至っていない また、電気料金値上がりにより増加した	

■ 地域公共交通確保対策事業費補助事業

<建設部(まちづくり推進課)>

⇒ 生活交通の存続が危機となっている地域の路線維持やバリアフリー化の導入等により、地域公共交通の確保・維持・改善を支援する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
地域公共交通確保対策事業の活用件数	2件	4件	3件	100.00
	目標値:総累計	見込み件数より		

(2) 樽っ子プライド育成プロジェクト

② ■ ICT教育推進事業

<教育部>

⇒ より良い教育環境の整備を図るため、ICT機器(実物投影設備等)を整備し、あわせてICT教材を全小学校へ導入するとともに、これらを効果的に授業で活用するためのサポートを実施する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
授業がよくわかると答えた児童の割合(小学校)	75.85%	90%	79.9%	100.00
授業がよくわかると答えた生徒の割合(中学校)	67.85%	80%	71.7%	100.00
<全国学力・学習状況調査結果>	実現可能な範囲で設定	+2.5%/年	順調に推移している	

■「樽っ子学校サポート」関係事業

<教育部>

⇒ 児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を目指すため、小樽商科大学および市内に在住する大学生・高校生を小中学校へ派遣し学習支援を実施する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
延べ実施日数	158日	200日	238日	100.00
		+10日/年	学校からのニーズはあるが、派遣率は6割 高校生は長期休業中の派遣により増加しているが大学生は減少傾向にあるため、周知のためのPRを続けていく	

■音読推進事業

<教育部>

⇒ 全ての小中学校で取り組んでいる家庭学習での「音読」活動の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
平日1日あたり1時間以上家庭学習する児童生徒の割合(小中学校)	50.6%	70%	53%	61.86
<全国学力・学習状況調査結果>	実現可能な範囲で設定	+5%/年	全国に比べて家庭学習の時間や量が不足しており、読む力や書く力に課題が見られることから「音読カード」を活用し家庭での学習習慣の確立を促し、改善のきざしが見えている	

■「小樽イングリッシュキャンプ」関係事業

<教育部>

⇒ 市内小中学生の国際感覚を育むため、ALT(外国語指導助手)や小樽商科大学の留学生との活動や宿泊生活など「英語漬け」の時間を過ごすプログラムを実施する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
参加児童生徒数	67人	100人	67人	0.00
		H27見込から+10人/年	小学生と中学生には英語でのコミュニケーション能力に差が見られるため、内容を分けて行い、参加しやすい内容となるよう工夫する	

■スクールライブラリー便事業

<教育部>

⇒ 学校のリクエストに応じて図書館図書を学校に貸し出すため、計画的に専用図書を購入する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
実利用校数	15校	30校	21校	100.00
		市内全校を目標	ライブラリーの整備冊数が3,000冊となるまでは学校巡回と並行して実施している 27年度実施校が3校閉校になり減少したが、28年度4校増加し、22校となる	

② 保育環境整備事業

<福祉部>

⇒ 幼稚園、保育所等の絵本を整備し、読み聞かせ活動の推進や家庭での読書習慣を醸成することなどにより、教育・保育環境の充実を図る事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
幼稚園、保育所等における教育・保育環境充実に関する取組	269回	300回	359回	100.00
		H27見込を現状維持	H27年度に啓発事業を実施した成果と思われる引き続きの普及と啓発を各施設に促す	

■ファミリーサポートセンター事業

<福祉部>

⇒子育ての援助を行うことを希望する者と子育ての援助を希望する者との相互援助活動に関する連絡調整等を行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
提供会員数	128人	200人	137人	62.50
		年2回の研修会に6名受講→+12人/年	提供会員の高齢化や転出による退会もあるため、引き続きPRを行って会員の確保に努める	

■地域子育て支援センター事業

<福祉部>

⇒子育て支援センターにおいて保育士が遊びや親子の交流の場を提供するなど、さまざまな形で子育てを応援する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
利用親子人数	9,600人	9,600人	12,939人	100.00
	現状維持が目標	現状維持	H27年度「あそぼ」が新築され、開放日など事業の増加によって利用者数が大幅に増加したと思われる	

■母子保健推進事業

<保健所>

⇒妊娠期の母体の健康と子どもの健康を守るための環境を整備する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
乳幼児健診受診率	96.45%	96.45%	95.8%	32.64
	現状維持が目標	現状維持	既に高いレベルの実績値であり、わずかな増減でもスコアに影響したもの	

■こんには赤ちゃん事業

<保健所>

⇒生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を保健師などが訪問し、養育環境の把握や育児についての相談等を行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
乳児家庭全戸訪問実施率	98.1%	98.1%	98%	47.37
<小樽市子ども・子育て支援事業計画(H27~31)>	現状維持が目標	現状維持	既に高いレベルの実績値であり、わずかな増減でもスコアに影響したもの	

■乳幼児医療助成事業

<医療保険部>

⇒子育て支援、人口対策等の観点から、子どもを安心して育てられる環境を整えるため、小学生までの医療費自己負担を軽減する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
受給者1人あたりの助成額	14,686円	14,686円	15,797円	100.00
		事業拡大規模が未確定なことから現状値で設定	就学前は入院・入院外、小学生は入院のみが対象(3歳以上は所得制限あり)前年度に比べ入院外が増加しており、1人当たりの医療費が増加したため	

■男女共同参画施策事業

<生活環境部>

⇒男女共同参画社会の実現に向け、啓発活動を始めさまざまな施策を総合的に進めていく事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
家庭生活で男女平等となっていると思う人の割合	26.2%	43%	%	
男性が育児休業を取ることは家族として当然であると思う人の割合	34.4%	45%	%	
<第2次小樽市男女共同参画基本計画(H25~34)>	市民意識調査(5年毎)、現状値:H23	H34目標値:50%	平成28年度市民意識調査実施(7~8月)、調査結果は11月にまとまる予定	

■おたる運河ロードレース実行委員会補助事業

<教育部>

⇒小樽運河を中心としたコースで行うマラソン大会の実施に関する補助事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
おたる運河ロードレースの市民出場者数	685人	800人	685人	0.00
		平均して+23人/年	全体の参加者数が減少している 公認のフルマラソンコースが設けられる函館マラソンが翌週に開催されるため、参加者が流れていることが要因と考えられ、改善策を実行委員会で検討する	

② 地元定着を目指す人材育成事業

<産業港湾部(商業労政課)>

⇒就職を希望する高校生に対する就活セミナー・企業見学会の実施や、若者・女性を対象とした就業体験と研修を組み合わせた実践的な就職支援を実施する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
新規高卒者の市内事業所就職率	45.6%	50%	46.8%	100.00
		理想値で設定		
講習受講者の市内事業所就職率	100%	100%	100%	100.00
		現状維持		

(3)にぎわい再生プロジェクト

② 「小樽の硝子」ブランド力強化事業

<産業港湾部(産業振興課)>

⇒硝子は古くから小樽市に根づく地域資源の一つであることから、製作体験の実施や市内の工房等が連携したイベントを開催することで、硝子製品を身近なものに感じたり、市内外における「硝子の街小樽」のブランド力強化が図られることにより新たな需要の掘り起こしに繋げ、小樽硝子産業の底上げを図る事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
卒業記念硝子製作体験の体験率	87.3%	94%	85%	-100.00
	最終目標:100%	H27見込:90%+1%/年×4年	授業など学校単位で実施する学校と児童が任意で参加する学校があり、任意による参加者数が前年と比べて少なかったため、体験率の減少となった 今後周知の回数を増やすことにより、体験率増加に努める	
小樽がらす市における売上	345万円	800万円	773万円	100.00
		H26実績は悪天候のためH25(740万円)を基準に+10万/年	H26年度は悪天候により開催時間が短縮されたため、H27年度は大幅に伸びたような実績値となっている 販売側の経験値が年々高まっており、着実に当初の目標値(760万円)を達成している	

② 「小樽産品」ものづくり・販路拡大支援事業

業港湾部(産業振興課・商業労政課)>

⇒長引く不況のため、積極的な投資が難しい中小企業に対し、新技術・新製品などの開発を支援し、地元企業のものづくり力の強化を図るとともに、商談会・展示会に出展するなど国内外への販路拡大の取組を実施する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
商談件数	0件	130件	412件	100.00
	現状値:未計測	5事業(技術開発促進事業・ものづくり市場開拓支援事業:10、小樽産品商品力販売力向上事業:50、「小樽産品」販路拡大支援事業:50、海外販路拡大支援事業:20)の計	実績値の多くを占める「小樽産品」販路拡大支援事業では事前に出展相談会を開催し、効率のよい商談へ導いたことにより件数が伸びた	

② 小樽港物流促進プロジェクト

<産業港湾部(港湾室)>

⇒ 近年、太平洋側への物流シフトなどにより、小樽港の取扱貨物量が低迷していることから、ポートセールスを強化するとともに、対岸にロシアを望む地理的優位性を生かした物流の促進により経済の活性化を図る事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
取扱貨物量	968千t	978千t	889千t	-100.00
※フェリー貨物を除く一般貨物のみ指標に見直し(単位:万t→千t, 値:現状968→目標978)		1%増	ロシア向け貨物(主に完成自動車)の輸出減少等による	

② 企業立地促進事業

<産業港湾部(産業振興課)>

⇒ 当市のブランド力や優位性を活かし、道外からの企業誘致による新たな雇用の創出と地域経済の活性化を図るため、小樽に立地する可能性がある企業の掘り起こしを行うほか、首都圏を中心とした企業訪問や産業展への出展により当市の操業環境PRなどを実施する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
市長・幹部職員による企業訪問	31社	100社	74社	100.00
	目標値:5年累計	20社/年	H27年度に設備投資動向調査を実施し、その結果を基に企業訪問を行ったため、目標値の訪問数を上回った 引き続き、企業誘致活動の一環として積極的に訪問を行っていく	

② 国内外観光客誘致推進事業

<産業港湾部(観光振興室)>

⇒ 当市における「観光」は消費や雇用など、多岐にわたる経済波及効果を生み出しており、重要な基幹産業となっていることから、交流人口の拡大に向け、各種媒体の活用など、国内外に向けたプロモーション活動を実施する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
宿泊客数	663,900人	697,000人	700,200人	100.00
		5%増	外国人宿泊客の増加による目標値を達成しているため上方修正を検討する(新目標値案:830,000人)	

② 国内外観光客受け入れ環境整備事業

<産業港湾部(観光振興室)>

⇒ アジアを中心に海外からの観光客が増加していることから、観光案内所に外国語対応の通訳を配置するほか、特に外国人のニーズが高いWi-Fi環境の整備を行うことで、利便性やホスピタリティの向上と観光拠点への誘導による外国人観光客の回遊性を高め、観光客による経済波及効果の拡大を図る事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
観光案内所利用者数	130,425人	150,000人	173,204人	100.00
		20%増	JR小樽駅案内所利用者の増加による目標値を達成しているため上方修正を検討する(新目標値案:200,000人)	
国際インフォメーションセンター年間利用者数	79,070人	100,000人	108,759人	100.00
		30%増	中国、台湾などアジア圏からの外国人観光客の増加による目標値を達成しているため上方修正を検討する(新目標値案:130,000人)	
移動式Wi-Fi環境提供実績(設置日数)	0日	30日	17日	100.00
		クルーズ船20、潮まつり3、雪あがり7		

交 ■ 新たな魅力づくりによる観光振興事業

<産業港湾部(観光振興室)>

小樽観光は近隣からのリピーター客も多く、新たな観光の切り口が必要となっていることから、クールジャパン「kawaii」やご当地グ
⇒ ルメ、知られざるまちのロケーション、歴史的建造物など、さまざまな角度から観光資源の掘り起こしを図り、新たな観光需要を開拓する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
イベント参加者・来場者数	10,000人	12,500人	10,700人	100.00
<あんかけ12,000人、ショートフィルム400、kawaii100人>		25%増		

交 ■ 創業支援事業

<産業港湾部(産業振興課)>

⇒ 市内での創業を増やすことで、雇用の場を増やし、札幌市などへの転出を抑制するため、これまで中心部商店街や市場などでの開業に限定されていた、創業者に対する補助制度等の拡大・充実を図る事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
創業支援対象者数	117件	260件	87件	-100.00
<小樽市創業支援事業計画(H27~31)>		創業支援事業計画より	産業競争力強化法におけるガイドラインに基づき人口規模等に応じて目標値を設定したが、計画初年度ということもあり、目標値を下回ることとなった 今後も会議所、市内各金融機関と連携し、創業者支援を行っていく	

交 ■ 水産物ブランド化推進事業

<産業港湾部(水産課)>

水産物の販路拡大・消費拡大に向け、新たな販路の開拓やイベントによるPR活動、新商品の開発を行うとともに、小樽で水揚げ
⇒ された旬な魚や、その魚を原材料として製造される水産加工品の技術など、小樽の水産の魅力を情報発信し、ブランド化を進める事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
Webサイト閲覧数	0人	10,000人	354人	17.70
	H27開設	立ち上げ年:1,000人、翌年:5,000人、以降:10,000人	サイト全体の開設完了が3月であったため、今後サイトの周知に努めていく	

■ まちなか観光にぎわいづくり事業

<産業港湾部(観光振興室)>

⇒ 中心市街地において歩行者交通のハブを設けることで、観光客の動線を延長するための誘因を強化するとともに、滞在時間の延長による経済効果を受け止める仕組みをつくる事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
観光物産プラザの来館者数	244,240人	300,000人	335,942人	100.00
		20%増	中心市街地の動線からみて、JR小樽駅の利用者増に伴いその多くが運河方面へ流れた結果、来館者の増加につながったものと考えられる 目標値を達成しているため上方修正を検討する(新目標値案:400,000人)	

■ 海外販路拡大支援事業(連携事業分)

<産業港湾部(産業振興課)>

⇒ 札幌市他で組織する、海外展示会出展等を行う実行委員会に参加し、市内企業の海外販路拡大を支援する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
参加企業数	0社	4社	7社	100.00
		H27見込:4件→現状維持で設定	H27年度から札幌市等との連携により商談会等への出展機会を創出 特にH27年度は、札幌市で輸出に関する商談会が開催されたことにより、出展のしやすさから、増加した	

■ 地域経済交流促進事業費補助事業

<産業港湾部(商業労政課)>

⇒ 札幌市内の量販店で「小樽の物産と観光フェア」を開催し、小樽・後志の物産販売と観光PRを行い、隣接する大商圏である札幌圏との経済交流促進を図る事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
参加企業数	12社	15社	15社	100.00
	新規企業の参加による増を目指す	+1件/年	新規参加企業が3社あり増加した	

■ 小樽産品商品力・販売力向上事業

<産業港湾部(商業労政課)>

⇒ 小樽・北しりべしの食関連企業を対象に、商品開発の支援や販路開拓のほか、商品開発力・販売力向上に資する、販売実践会等の取組を行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
参加企業数	11社	20社	12社	55.56
	新規企業の参加による増を目指す	+2件/年	商品開発や改良支援を行った商品は実際の取引に結びついているが、実際の取引対象となり得る対象商品(シーズ)を見出すことの困難性から、目標値(新規2件程度/年)に対し1件の結果となった	

■ 小樽港クルーズ推進事業

<産業港湾部(港湾室)>

⇒ 市や国などの行政機関と民間で構成される小樽港クルーズ推進協議会による誘致活動や、寄港に対応するための受入態勢を強化する事業(受入歓迎事業の一環として、客船寄港時のふ頭において小樽・北しりべし産品の販売を実施)

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
参加企業数	17社	25社	16社	-62.50
	新規企業の参加による増を目指す	+2件/年	大手外国船社の大型客船による北海道周遊クルーズからの撤退などクルーズ客船の入港数の減少による	

■ 東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助事業

<産業港湾部(観光振興室)>

⇒ 札幌市などと連携し、アジア圏をはじめとした外国人観光客とMICE誘致に向けメディア招聘などを実施する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
北しりべし6市町村の外国人宿泊客数	141,441人	149,000人	人	
		5%増	8月頃にまとまる予定	

(4) あんしん絆再生プロジェクト

■ 特定健康診査等事業

<医療保険部>

⇒ 国民健康保険の被保険者(40歳以上)を対象に、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導を実施する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
特定検診受診率	15.5%	40%	%	
<小樽市特定健康診査・特定保健指導第2期実施計画(H25~29)>		国の目標値は60%だが実現不可能→現状値を勘案して設定	10月に確定値が出る予定	

■ 各種がん検診事業

<保健所>

⇒ 胃がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん、大腸がんの早期発見、早期治療により、がん死亡率の減少に努めることを目的とする事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
がんの標準化死亡比(男)	118.7	117.1		
がんの標準化死亡比(女)	112.1	109.3		
<現状値:H16~25 目標値:H20~29の値>	※単年では変動が大き い→10年間の値で算出	-0.4(男)、-0.7/年(女) ×4	例年、年末に集計している	

■ 地域包括支援センター運営事業

<医療保険部>

⇒ 高齢者を地域全体で支える「地域包括ケア」の拠点として、保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーの専門職を配置し、介護、福祉、健康、医療などの多方面から支援するセンターを運営する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
センターの相談件数	1,845件	2,400件	2,349件	100.00
		+100件/年(過去の推移より)	順調に推移している	

■ 地域住民グループ支援事業

<医療保険部>

⇒ 地域版介護予防教室など、地域住民等による自主グループが行う介護予防事業に対する支援を行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
地域版介護予防教室延べ参加者数	6,090人	13,000人	7,830人	100.00
	H26:12教室、315回実施	24教室に倍増→実施回数増	順調に推移している	

■ 老壮大学運営費補助事業

<福祉部>

⇒ 概ね60歳以上の市民を対象に、生涯学習を通じて、高齢者の生きがいづくりと心身の健康増進を図ることを目的として開設された小樽老壮大学の運営を補助する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
老壮大学学生数(選科生)	248人	250人	245人	-100.00
		ほぼ現状維持	受皿となる高齢者団体が増加し選択肢が増えており、老壮大学は1年間を通じての受講が高いハードルとなっているのか、相対的に減少している ポスターを増刷し広く周知するほか、人気のある講座数を増やすことで学生数の増加につなげたい	

■ 消防団活動支援事業

<消防本部>

⇒ 地域における地域防災力の中核的な役割を担う消防団の活動を充実強化するため、消防団の装備の整備を行い、消防団員の能力向上及び安全の確保を図る事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
消防団員数	485人	494人	452人	-100.00
<消防団員増員計画>		H40目標値:548人	消防団員の平均年齢は49歳で全国平均と比べて高く、有職者も約300名いるため、健康状態の不安や転勤による退団者が増加している 団員による声掛けやチラシ配布による入団促進を図っている	

■ 救急等広報資器材整備事業

<消防本部>

⇒ 市民および市内に勤めている方を対象にAED(自動体外式除細動器)の使用方法、胸骨圧迫(心臓マッサージ)や人工呼吸等の心配蘇生法・止血法等「救命に必要な応急手当」の基礎知識と実技指導の講習を行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
普通救命講習会(I・II)の講習受講者数	6,584人	8,700人	6,833人	58.84
<小樽市第6次総合計画>		H30目標値:8,400人+過去10年平均300人/年	一般救急講習会や消防で実施する各種行事において普通救命講習受講の広報を実施し、受講者の増員を図っていく	

■ 避難支援事業

<総務部(災害対策室)>

⇒ 市民が災害時に迅速で的確な避難行動をとれるように、ハザードマップを整備するとともに、地域における避難訓練において活用し、防災意識の高揚を図ることなどを行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
防災体制整備率	38%	100%	39%	8.06
		完備を目標	土砂災害警戒区域の指定を受けた箇所についてハザードマップを作成しているが、指定は道が行っているため、当室の計画通りには達成されていない	

■ 避難所機能強化事業

<総務部(災害対策室)>

⇒ 災害発生時の避難所受入強化のため、計画的に非常用食糧や防寒対策用品等を整備する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
避難所備蓄品整備率	74%	100%	79%	96.15
		完備を目標	順調に推移している	

■ 地域コミュニティ活動支援事業

<生活環境部>

⇒ 地域のコミュニティ活動を促進するため、地域の環境美化に対する取組や、活動の拠点となる町内会館の新築・改修に対し支援を行う事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
快適な環境づくり実践促進連絡会議各活動への参加人数	283人	300人	270人	-100.00
		ほぼ現状維持	「小樽市快適な環境づくり実践促進連絡会議」は現在50の幹事団体で構成されており、清掃活動や、美化活動を実施しているが、日程や天候等により、参加団体及び参加者の増減がある これまで未参加だった団体に対し参加の呼びかけを積極的に行い、参加者の増加につなげたい	

■ 総連合町会補助事業

<生活環境部>

⇒ 総連合町会の円滑な運営の促進と、各地域における生活環境の整備や青少年の健全育成などの町会活動に対して支援を行うことを目的として助成する事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
町会加入数	152町会	152町会	152町会	100.00
		現状維持		

■ 銭函市民センター施設関係事業

<生活環境部>

⇒ 銭函地区における市民の生活文化向上と福祉の増進を図ることを目的とした施設の運営事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
銭函市民センター年間利用者数	28,951人	30,000人	30,231人	100.00
		ほぼ現状維持		

■ 三市区連携事業

<総務部(企画政策室)>

⇒ 地理的にも隣接している三市区(小樽市、石狩市、札幌市手稲区)が、交通安全、イベント、情報交換など、さまざまな分野で連携事業を行うことにより、地域住民の相互交流を促すことを目的とした事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
連携事業数	13回	16回	12回	-100.00
		プロモーション:+1回、情報PR:+1回、イベント連携・協力:+1回	手稲区前田森林公園フラワーアートウィークが開催されなかったことによりイベント数が減少した 小樽市内において三市区連携をPRする事業を模索していく	

■ 定住自立圏構想推進事業

<総務部(企画政策室)>

⇒ 都市機能を有する小樽市と近接する近隣市町村(積丹町、古平町、余市町、仁木町、赤井川村)とが相互に連携し、役割分担しながら暮らしに必要な機能を確保していくことを目的とした事業

施策KPI	現状値(H26年度*)	目標値(H31年度)	H27年度	
			実績値	スコア
連携事業数	1回	5回	2回	100.00
		プロモーション:+2回、情報PR:+1回、イベント連携・協力:+1回		

《今後の展開》

- ・ マイナスのスコアとなった事業については改善策を検討する。
- ・ 既に目標値を大幅に上回っている事業については、平成31年度目標値の再設定を検討する。
- ・ 実績値が未集約の事業については把握できしだい分析を行う。